

慈光寺

季号
春第62号
平成31年3月
発行

一月は行く、二月は逃げる、三月は去ると言われ、今年もあつという間にお彼岸です。一年、毎年三六五日生まれた時からおなじように平等に月日が経つのに、なぜか速く感じる。これは「私自身が全てのことにおいて感動がなくなっている証拠」だそうです。時々、年齢を重ねてくると生きる喜びが感じられなйтと言われる方がいらっしやいます。視点を变えて「生かされている喜び」に目を向けましょう。

人の一生は永遠に続く時の流れの中でほんの一瞬にすぎません。この短いひとときの命は仏様から命を借りているだけです。

生まれてから死ぬまでのひととき、人は思い通りにならない時腹を立てたり悲観したりします。頭では判っていてもポジティブにはなれません。

人はなぜその時にその場所に生まれたのでしょうか。

心臓が脈打っているのも呼吸をしているのも自分の意思によるものでないのです。自ら「生きている」のではなく、仏様に「生かされている」とは思えば……。

そうです。感謝の気持ち湧いてくるはずです。

お彼岸は日々の反省と先祖供養の日です。この行事は平安時代からはじまって今日に至っています。彼岸は彼方の岸、向こう岸、仏様の世界、浄土の世界です。現実の世界は此岸です。この地と仏の地を隔てているのは煩惱と言う大河です。

この汚れた此岸、娑婆世界から

煩惱の大河を渡り仏の世界へ住み替えることは短い一生では一般には、むずかしいかもしれせん。

つまり、亡くなった時に仏様の力によって彼岸に導かれ、到達して安らかな往生が出来るようにと私達は一心に手を合わせるのです。

それが追善供養です。

日々のあやまちに気づき、先祖の為に手を合わせて心の安心をいただきますしよう。

(いのちに合掌)



行事案内

お彼岸

お彼岸には先祖供養のお塔婆をお供えしましょう。
慈光寺では塔婆回向を申し受けております。「暑く寒くも彼岸まで」とか昔からの人はよくいったもので、厳しい冬も過ぎ日増しに日が伸びて暖かくなると「春の彼岸」がやってきます。お彼岸の一週間は、先祖を敬い、亡き人に供養を捧げると共に善根を積み、仏道に精進する大切な日々です。

18日	布施	思いやりの心、奉仕する生活
19日	持戒	決まりを守る、生活を正す
20日	忍辱	苦しみに耐え、正しい道を開く
21日	お中日	「先祖供養、お題目の修行」
22日	精進	ためまめ努力、続ける心
23日	禅定	心静かな落ち着いた着き、集中する心
24日	智慧	仏道にめざめ、正しい教えを学ぶ

【卒塔婆供養】
お塔婆をご供養される方は、お早めにお寺の方へご連絡下さい。
尚、三月七日が締め切りです。特に変更のある方は、お早めにご連絡をお願い申し上げます。

◆春季彼岸大法要

平成三十一年三月二十一日(木・祝)

午後二時始め

・講演

また 真田 決 先生

町内会やデイサービス等、多方面で活躍中。津軽三味線、尺八、二胡など色んな楽器を使って楽しいひとときです

「お笑い！一人芸」

・法要

・卒塔婆供養

・米寿の御祝

今年三十一年に米寿を迎える方(昭和六年生まれ)
是非お参り下さい。
お祝いの心を込めて記念品と共に
お祝いします。
みんなでお祝します。お楽しみに！



お願い(護持会をお納めの方へ)
檀家さんで今年満八十八歳を
お迎えになる方
お寺の方へご連絡をお願いします

お彼岸のお経のお知らせ

今年、三月十八日から二十四日の間にお参りさせて頂く予定です。現在ご希望されておられますご家庭には、ハガキにてお日にちをご案内させて頂きます。ご都合が悪いようでしたら、ご連絡を下さいませ。ご相談させて頂きます。
尚、時間につきましては、前後することも有ります。ご都合が有る方は時間約束を必ずお知らせ下さい。
又、今年からお参りをご希望されるご家庭がございましたら、お寺の方へご連絡くださいませ。
よろしくお祈りします。

☆合同供養

三月二十四日(日曜日)

午前十一時より

お寺で供養をご希望の方は合同供養を致します。他の日時をご希望の方はご相談下さい。個別の法要もお受けしています。

TEL 082-271-4665
FAX 082-275-2216
慈光寺

◆花まつり

平成三十一年四月八日(月)

午後二時より

今年も花御堂を境内本堂前におかざりして、お経をあげたいと思います。お時間のある方は是非、ご一緒に報恩感謝をささげましょう。
お花を差し上げます。
どなたでもお参り出来ます。(無料です)

TEL 082-271-4665

慈光寺



【団体参拝のご案内】

京都へ行くく大本山巡りくこの度、壽徳寺様とご一緒に団参を計画しております。6月4日(火)、5日(水)の1泊2日です。草津からゆつたりのんびりデラックスバスに乗ってお参りと、ちよびり観光も含めての2日間です。(妙顕寺の貫首さんは及川日周猊下です)荷物も積んでラクラク京都。もちろん、慈光寺の檀家さん以外のお友達もご一緒でも大歓迎です。(尚、参加人数が15名未満の場合、参拝を中止することも有りますのでご了承下さい)料金のご開帳料とご朱印代を含めて48,000円です。詳しくはパンフレット、掲示板を御覧下さい。集合時間等は決定しだいお知らせします。お申込みをお待ちしています。



【平成三十一年新春祝禱会】

一月元旦・二日・三日

己亥年 沢山の方が参拝されました。年の始めのお話と運をお土産に笑顔で帰路につかれました。

【新春妙見宮大祭】

一月十五日(火)

祝禱会へ妙見祭にも、みなさんがお参りされ感謝の一言です。妙見様のおみおくじをひくと、今年「吉」と出ました。大難が小難 小難が無難に!!

【節分星祭】

二月三日(日)

福は内!福は内!のかけ声。雨にもかかわらず沢山の方にお参りして頂きました。心より御礼申し上げます。今年のくじ一等は檀家さんに大当たり。喜んでおられました。



中国新聞に掲載

「命の授業」 腰塚勇人 著

スキー中の事故で首を骨折した中学教師が周囲の人々への感謝により心身共に復活。手術は成功したものの首から下が動かなくなり自死まで考えたが、奥さん、お母さん、教師仲間、生徒の励ましにより復活、復帰。全ての事を受け入れ感謝の言葉ありがとうを言う努力をすると、その効果により手足が動くようになったそうです。

五つの誓い

「口」は感謝の言葉を言うため

「目」は人の良い所をみるため

「耳」は最後迄人の言葉を聞くため

「手足」は人を助けるため

「心」は人の痛みをわかるため

に使おうと決心されたそうです。人の良い事は「まね」しましょう。本年は平成最後の年であり、次の時代への幕開けの年、きつと良い一年になると思います。

べこ報告

・大晦日除夜の鐘リレー

おかげさまで沢山の方が参加されました。干支のいのししのおみくじを百八準備。あつという間に手元から、お越しになられた方の手元へ渡りました。ご近所の方から慈光寺の鐘が一番良い鐘の音で、一番響いているとおほめの言葉を頂きました。

しばらくすると西楽寺の若さんが来寺され、鐘をご覧になって帰られました。皆様の気持ちが一ひとつになり、りっぱな鐘楼堂と鐘、全てに感謝です。(笑)

募 集

★墓地・納骨堂・慈しみの墓を求めておられる方、ご相談に応じます。

★月回向ご希望の方で時間が取れないとあきらめておられる方、お寺での供養を受け付けています。お電話頂ければご来寺の際に回向申し上げます。

水場の使用について

環境整備にご協力ください。

☆水場の使用の整理整頓をお願いします。

☆バイク、自転車の乗り入れは、境内セメントのところへお止めください。

☆花のゴミはなるべく小さくして袋へお入れください。よろしくお願ひ致します。

☆飲み物や食品のお供はお墓にお供えされた後、必ずお持ち帰り下さい。

お墓のごとは

お墓の建替え、修繕・墓石の相談は

・杉田石材店様 (草津慈光寺より百廿先)

事務所 電話082-271-0726

・今田石材様

西区中広町 丁目 千九一

事務所 電話082-23271813

お仏壇のごとは

仏壇・仏具・修理などの相談は

・吉野ふたば店様

安芸郡府中町大通 丁目 十四一六

電話082-282-1543

・二世仏壇様(平安祭典観音)

広島市西区南観音八丁目 一三五

電話082-297-6127



普門山

慈光寺

〒733-0861

広島県広島市西区草津東3丁目7-25

TEL: 082-271-4665 H P: <http://www.jikouji.com>

FAX: 082-275-2216 mail: info@jikouji.com